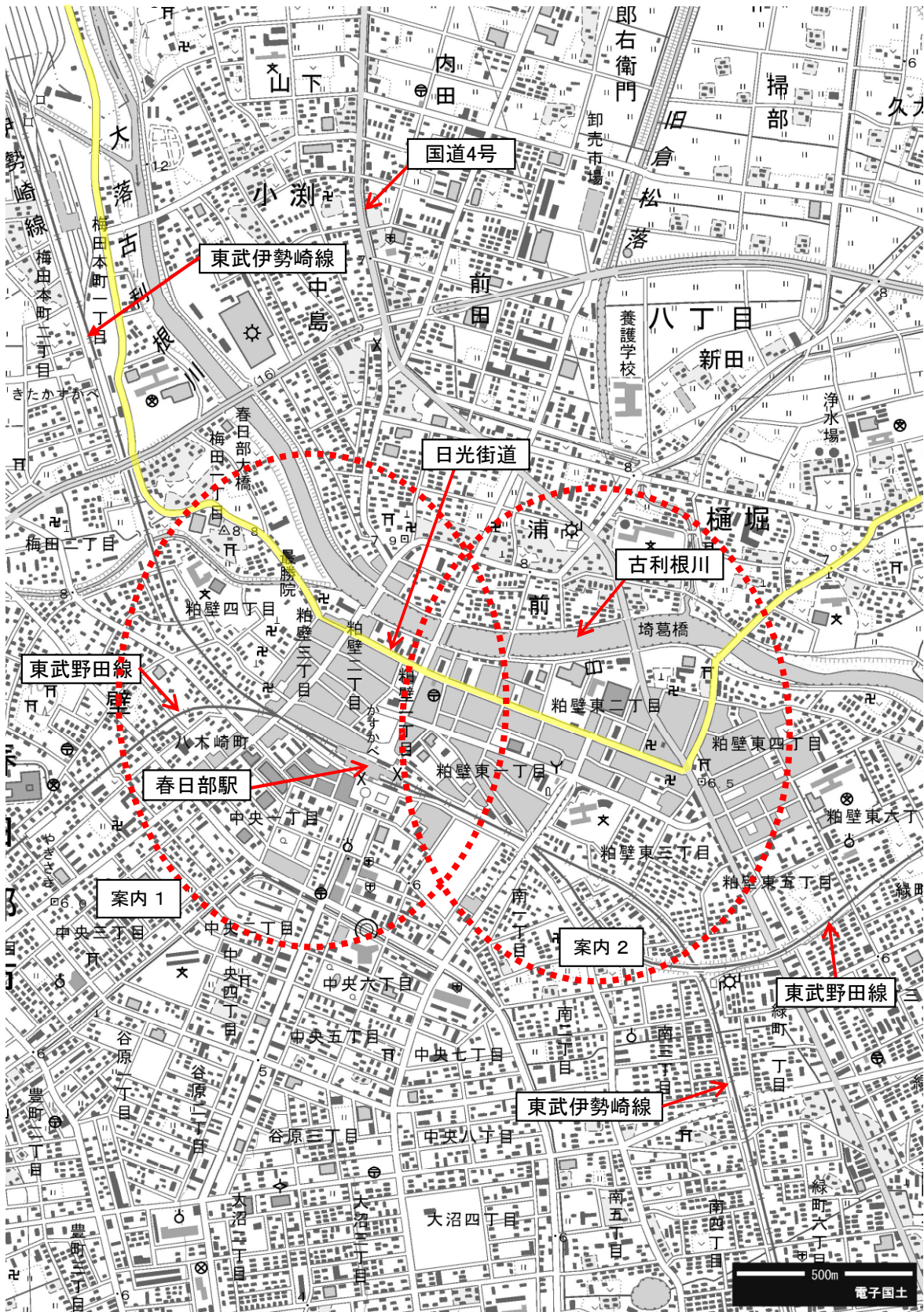


春日部



案内図

調査範囲

春日部



配置図

凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

春日部



配置図

凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

春日部



粕壁宿は、現在の春日部大通りに当たり日本橋を出て日光道中4番目の宿場町として発展した。粕壁宿には、人馬の手配等を行う問屋場が1か所あり、本陣、脇本陣は各1か所あり、旅籠は45軒あった。現在は特例市とし発展をしている。

(写真は、埼玉葛橋より古利根川上流部を臨む)

1

最勝院



本堂の西側の墳丘は、春日部市の市祖春日部重行を葬ったといわれる。明治26年に開業した千住馬車鉄道の起点でもあった。

2

成就院



風神、雷神が置かれた山門は、迫力があり圧巻である。2層であるため高さでも目を引く建物である。

3

成就院の高木



道路の拡幅によりシンボリックな高木が道路側に張り出している。

4

妙楽院



寺社特有の大屋根が目立つ寺院。

5

玉蔵院



山門が重厚で印象的な寺院である。

6

-1 東武鉄道



かつては東武鉄道の電気設備棟であったが、現在は事務所、倉庫とし現役使用されている。

<p>6 -2 東武鉄道</p>	<p>6 -3 東武鉄道</p>	
		
<p>春日部駅の構内にある昭和初期を感じさせる鉄筋コンクリート造の建物。妻側に東武鉄道の社章が見える。</p>	<p>縦長の窓の形の違いや緩やかな勾配を表す妻側の形状が印象的な建物である。</p>	
<p>8 新町橋</p>	<p>9 商店</p>	<p>10 通りのモニュメント</p>
		
<p>古利根川に架かり江戸時代にもあった橋梁である。この橋上から眺める河川景観は素晴らしい。</p>	<p>重厚感のある屋根瓦と低く張り出した1階の庇が印象的な店舗である。</p>	<p>風で帽子が飛び、髪がなびいている。水平、垂直でできた街に快い空気が流れるようにと造形された。彫刻は「記念撮影-風が-」(作 峯田敏郎)</p>
<p>11 蔵</p>	<p>12 -1 古利根公園橋</p>	<p>12 -2 古利根公園橋</p>
		
<p>観音扉の窓にかけられた曲線の庇が目を引き蔵である。</p>	<p>春日部市市制30周年にあたる昭和59年に完成した古利根公園橋は、全国的にも珍しい公園橋である。ここの彫刻は「彫刻のある街づくり」初期の設置である。</p>	<p>美しい曲線の間から見えるスカイラインが印象的な景観である。</p>

12 -3 橋上のブロンズ像	12 -4 夏の彫刻	13 昔風の街並み
		
<p>ブロンズ像があると街並みがいっそう彩られる。作者がジーンズをモチーフとした作品のひとつである。彫刻は「ジーンズ・夏」(作 佐藤忠良)</p>	<p>輝く太陽、爽やかな涼風、咲き乱れる野の花高原に立つ少女。作者が夏をイメージした作品である。彫刻は「夏」(作 桑原巨守)</p>	<p>昔風の店舗と住居の街並みが歴史を感じさせてくれる。</p>
14 梟の彫刻	15 ポケットパーク	
		
<p>作者が少年のころ聖域とした故郷の森。その頃の森の梟をイメージした作品である。彫刻は「月に吠える」(作 手塚登久夫)</p>	<p>日本風の庭園を模した珍しいポケットパーク。石や植栽が美しく、水が流れるようになっている。</p>	
17 滝の彫刻	18 -1 詩想の彫刻	18 -2 モニュメント
		
<p>滝をモチーフにした彫刻で夏には涼しげな彫刻である。彫刻は「夏、水神の滝口から落ちる清涼感溢れる滝」</p>	<p>自然の中で詩想を練り詩う若き詩人の姿を現している。彫刻は「詩想」(作 綿引道郎)</p>	<p>草むらを飛ぶトンボや藤の花などの自然が描かれている。両側の巨石にもレリーフが埋め込まれ存在感がある。</p>



<p>19 駅前交差点</p>	<p>20 何かを見ている女の彫刻</p>	<p>21 ぷらっとかすかべ</p>
		
<p>幹線道路の交差部にはインターロッキング舗装され、道路景観と交通安全に配慮されている。また、4つの角にはそれぞれ異なる彫刻が置かれ、芸術の風が吹く。</p>	<p>何を見ているの？ 考えているの？ これから伸びて行く若いひとりの飾り気のないふとしたときの煌々ような美しさを造形している。 彫刻は「煌(こう)」(作 森田やすこ)</p>	<p>春日部市の新しい観光案内所。当地を代表するクレヨンしんちゃんをメインキャラクターとしている。幹線道路の角地を利用し、景観的にも目を引く施設である。</p>
	<p>23 羽のモニュメント</p>	<p>24 通り沿いの石のベンチ</p>
		
	<p>学校通りを歩き空を見上げると、羽のようなモニュメントがある。作者は街と人々と彫刻が一つに結ばれることを望んで作成されている。彫刻は「風になるとき」(作 西野康造)</p>	<p>学校通りの歩道部には植栽スペースにベンチが造りこまれている。植栽とともに憩いとゆとりを感じさせる道路である。</p>
		<p>27 ウサギの彫刻</p>
		
		<p>学校通り沿いのビルの間には彫刻が置かれたポケットパーク的空間である。狭く暗い路地が、明るく楽しさを醸成している。彫刻は「おでかけ」(作 藤原吉志子)</p>

<p>28 実りの彫刻</p>	<p>29 音楽の彫刻</p>	<p>30 雲の彫刻</p>
		
<p>交差点近くに配置された四季をテーマにしたの彫刻のひとつ。季節は秋である。 彫刻は「秋、豊穡なる実り、「桐」の実子から溢れ、伝わり、奔る水」</p>	<p>大空に向かって、楽器を奏でる人達。時には親子であったり、仲間であったり…。 彫刻は「響」(作 吉本豊)</p>	<p>雲をモチーフにした丸みのあるユーモラスな彫刻。季節は冬である。 彫刻は「冬、青く澄み渡った冬の空に浮かぶ光輝く雲」</p>
<p>31 蔵</p>	<p>32 -1 駅前モニュメント</p>	<p>32 -2 シンボルツリーと彫刻</p>
		
<p>粕壁1丁目の御輿蔵である。一部がガラス張りで、御輿の見事な姿を見ることができる。腰壁になまこ壁風になっており風情を感じる。</p>	<p>駅前ロータリーの中心に、富田憲二・山本明良作の彫刻「心の橋」がある。橋の上には、子どもが遊ぶ姿が彫刻され、ほのぼのとした雰囲気醸し出している。</p>	<p>ロータリーの中心にはシンボルツリーと子どもの彫刻が置かれている。</p>
<p>32 -3 時計台</p>	<p>33 東口駅前広場</p>	<p>34 板堀</p>
		
<p>東口駅前ロータリーの中心に位置する時計台。</p>	<p>春日部駅東口駅前広場は、歩行者にとって十分にゆったりとした広さが確保されており、他の通勤・通学客が気にならない安心感を生む。</p>	<p>瓦を載せた板張り堀が歴史感ある風情を醸し出している。</p>

<p>35 碓神社</p>	<p>36 店舗</p>	<p>37 春日部福祉センター前の彫刻</p>
		
<p>樹齢600年のイヌグスは県指定の天然記念物である。かつて古利根川にあった下喜蔵河岸(しもきぞうがし)の目印となっていたと伝えられている。</p>	<p>明治創業の和菓子屋。歴史を感じ、和菓子屋らしい雰囲気を醸し出している。</p>	<p>たゆたう音楽の調べに身を委ね、心の安らぎを得る至福のひとつへの憧れを造形にし、人類の平和への祈念としている。 彫刻は「瑶揺韻」(作 一色邦彦)</p>
<p>38 店舗</p>	<p>39 路地</p>	<p>40 春日部市消防署</p>
		
<p>円や三角形等の幾何学形態の外壁が目立つ近代的な店舗ビルである。</p>	<p>背の高いマンション群に囲まれた住宅街にある細い路地。家々の生垣植栽に落ち着いた雰囲気を感じる。</p>	<p>青い屋根と2階のベランダの壁が特徴的な建築である。</p>
		<p>43 市立中央図書館</p>
		
		<p>図書館の内側は曲面のカーテンウォールになり、囲まれた中庭は静かな空間を形成している。</p>

<p>44 ギリシャ神話の彫刻</p>	<p>45 古利根川の河川景観</p>	<p>46 東八幡神社</p>
		
<p>ギリシャ神話のゼウスとレダを題材にしたもので、神話を通して男女の形態を造形化している。 彫刻は「神話Ⅱ」(作 加藤 豊)</p>	<p>大きく蛇行しながら流れ、ゆったりした気分になる。土手の桜並木、橋、高層マンション等が見える。</p>	<p>長い参道の奥に銀杏やケヤキの大木に囲まれ銅板葺きの社殿がある。</p>
<p>47 学校通り</p>	<p>48 -1 東陽寺</p>	<p>48 -2 東陽寺の芭蕉句碑</p>
		
<p>電柱が無く広々と感じる空中。広く綺麗に整備された歩道のレトロな雰囲気。街路灯が目につく気持ちの良い大通り。</p>	<p>銅板葺きの山門そして高台に置かれた本堂が目を引く。</p>	<p>東陽寺は芭蕉宿泊の寺と伝えられ、句碑が建てられている。</p>
<p>49 蔵</p>	<p>50 店舗</p>	<p>51 教育センターの彫刻</p>
		
<p>幹線道路の分岐点にあり、全体が黒塗りの重厚感のある建物である。</p>	<p>敷地内の樹木に囲まれているレトロ調の喫茶店である。</p>	<p>彫刻とその周辺の空間。そして彫刻を見る人がひとつになるように作成されている。 彫刻は「小さい花」(作 黒川晃彦)</p>

<p>52 春日部市教育センター</p>	<p>53 内谷陸橋の壁画</p>	<p>54 東武鉄道線路</p>
		
<p>交差点に面する曲線のフレームが特徴的な建築で、地域のランドマークになっている。</p>	<p>粕壁小学校近くの内谷陸橋にはその壁面を活用して絵画が描かれ、通学路の雰囲気明るくしている。</p>	<p>東京と連絡する重要な交通機関である東武鉄道線路の東西の景観。</p>
<p>55 秋葉神社の夫婦松</p>	<p>56 春日部駅西口のシンボルツリー</p>	<p>57 店舗</p>
		
<p>秋葉神社は、江戸中期に火防の神として信仰を集めていた。粕壁の地にあった秋葉神社の神木が残ったもの。イチヨウの1本に松の木が一体になったものである。</p>	<p>埼玉県県の県木でもあるケヤキが1本。西口のシンボルとなる景観を造り出している。</p>	<p>古風に作られた店構えの正面が目を引き。店の前にある松の木が和風を演出している。</p>
<p>58 福音自由教会</p>	<p>59 春日部駅西口ふじ通り</p>	<p>60 店舗</p>
		
<p>街中のビルの中にあり、細く尖った形状の屋根と屋根上の十字架が目を引き教会建築である。</p>	<p>春日部駅西口から延びる幹線道路、中央分離帯と歩道の並木そして街路灯が街並みを形成している。</p>	<p>和風建築が落ち着いた雰囲気を醸し出している。ふじ通りの角地にあるため景観的にアイストップとなっている。</p>

	62	ララガーデン	
			
		<p>屋上にはウェーブした屋根が載せられユニークなデザインがひとときわ目を引く建築である。</p>	